

京都大学 1983年 入学試験 理系数学 問題5

問題

$xy$  平面上に動点  $P, Q$  がある.  $Q$  は時刻 0 のとき点  $(0, -b)$  にあり ( $b > 0$ ), 速さ 1 で  $y$  軸上を正の向きに進む. 他方  $P$  は時刻 0 のとき  $x$  軸上の点  $(-a, 0)$  にあり ( $a > 0$ ), 速さ 1 で  $x$  軸上を正の向きに進み, ある時刻  $t$  ( $t \geq 0$ ) で向きを変え, 速さを  $\sqrt{2}$  に変更して  $Q$  に到達するように直進するものとする. 時刻  $t$  から到達する時刻までの時間が最小になるような  $t$  を求めよ. ただし,  $0 < a < b$  とする.

解答

$P$  が  $Q$  に到達する点を  $M$  としその座標を  $(0, m)$  とし, その時刻を  $s$  とする.  $Q$  は  $s$  の時点で  $M$  に到達するので  $m + b = s$  となる.

$t \leq s$  である.

この間に  $P$  は  $t$  まで  $x$  軸方向に移動し, その後速度  $\sqrt{2}$  で  $(0, m)$  に向かって移動するので  $t$  の時の点  $P$  の位置  $(t - a, 0)$  から点  $M(0, m)$  までの距離  $\sqrt{(t - a)^2 + m^2}$  は速度  $\sqrt{2}$  で  $(s - t)$  の時間移動するので  $(s - t)\sqrt{2}$  と等しい.

$$\text{したがって } (t - a)^2 + (s - b)^2 = 2(s - t)^2$$

よって

$$\begin{aligned} (t - a)^2 + (s - b)^2 &= 2(s - t)^2 \\ t^2 - 2at + a^2 + s^2 - 2bs + b^2 &= 2s^2 - 4st + 2t^2 \\ s^2 - 4st + t^2 + 2at + 2bs - a^2 - b^2 &= 0 \end{aligned}$$

$$\text{よって } s = 2t - b \pm \sqrt{3t^2 + (-4b - 2a)t + 2b^2 + a^2}$$

$$t \text{ から到達する時間 } s \text{ までの時間は } s - t \text{ なので } s - t = t - b \pm \sqrt{3t^2 + (-4b - 2a)t + 2b^2 + a^2}$$

$\pm$  の符号について考える.

$$s - t = t - b - \sqrt{3t^2 + (-4b - 2a)t + 2b^2 + a^2} \text{ とすると}$$

$$t - b < 0 \text{ の時は } t - b - \sqrt{3t^2 + (-4b - 2a)t + 2b^2 + a^2} < 0 \text{ なので } s - t > 0 \text{ に反するので}$$

$$t - b > 0$$

しかし

$$\begin{aligned} 3t^2 + (-4b - 2a)t + 2b^2 + a^2 \\ &= 2t^2 - 4bt + 2b^2 + t^2 - 2at + a^2 \\ &= 2(t - b)^2 + (t - a)^2 > (t - b)^2 > 0 \end{aligned}$$

$$3t^2 + (-4b - 2a)t + 2b^2 + a^2 > (t - b)^2 \text{ となり } t - b - \sqrt{3t^2 + (-4b - 2a)t + 2b^2 + a^2} < 0 \text{ となり}$$

$t - b > 0$  であっても  $s - t < 0$  となるので条件に反するから

$$s - t = t - b + \sqrt{3t^2 + (-4b - 2a)t + 2b^2 + a^2} \text{ でなければならない。}$$

$$f(t) = t - b + \sqrt{3t^2 + (-4b - 2a)t + 2b^2 + a^2} \text{ として}$$

$$f'(t) = \frac{\sqrt{3t^2 + (-4b - 2a)t + 2b^2 + a^2} + 3t - 2b - a}{\sqrt{3t^2 + (-4b - 2a)t + 2b^2 + a^2}}$$

$3t^2 + (-4b - 2a)t + 2b^2 + a^2 > 0$  より  $f'(t)$  の分母は常に実数で正なので

$f'(t)$  の正負は分子の正負と一致する.

$$\sqrt{2(t - b)^2 + (t - a)^2} + 2(t - b) + (t - a) \text{ は}$$

$$2(t - b)^2 + (t - a)^2 < (2(t - b) + (t - a))^2 \text{ かつ } 2(t - b) + (t - a) < 0 \text{ のとき負となるので}$$

$2(t-b) + (t-a) < 0$  ならば  $t < \frac{2b+a}{3}$  より  $t-b < \frac{a-b}{3}$  であり

$a < b$  より  $a-b < 0$  なので  $t-b < 0$

よって  $(2(t-b) + (t-a))^2 - (2(t-b))^2 + (t-a)^2 = 2(t-b)(3t-b-2a) > 0$  となるのは

$3t-b-2a < 0$  のとき

よって  $t < \frac{b+2a}{3}$

$2b+a - (b+2a) = b-a > 0$  より  $\frac{2b+a}{3} > \frac{b+2a}{3}$  なので

$t < \frac{2a+b}{3}$  のとき  $f'(t) < 0$

$t = \frac{2a+b}{3}$  のとき  $f'(t) = 0$

$t > \frac{2a+b}{3}$  のとき  $f'(t) > 0$

よって  $f(t)$  は  $t = \frac{2a+b}{3}$  のとき最小となる。

以上より時刻  $t$  から到達する時刻までの時間が最小になるのは  $t = \frac{2a+b}{3}$

証明終了